

尊い、かけがえのない、大切なお子様の「ただいま〜！」の声

「平成 27 年 6 月 26 日午前 8 時ごろ、大和市内の小田急江ノ島線の踏切を自転車で横断中の高校生がダンプトラックにはねられ死亡…警察では双方の安全確認に怠りがあったものとみて、事故発生の原因を詳しく調べている…」という悲惨な交通事故…。まだみなさんの記憶に新しいことでしょうか…。亡くなった高校生は同市内県立高校の当時 1 年生でした。本校 30 期生と同級生ということで、保護者のみなさんにとっては、とても他人事とは思えない、悲しい思いをされた出来事だったことでしょうか…。

昨年 11 月初旬、次のようなことがありました。それは、ある日の早朝、私が南林間駅から本校へ歩いて向かう途中、修学旅行で知り合った男子 2 年生の後ろ姿を見かけ、「おはよう！」と声をかけた時のことです。私は生徒の 10 メートルほど後方を歩いていました。

私：おはよう！

生徒：…

私：(だんだん近づいて)おはよう！

生徒：…

私：(追いついて本人の方をたたきながら) おはよう。

生徒：(非常に驚いた様子でイヤホンはずしながら) うわあ、教頭先生！おっ、おはようございます！

私：確かバスがいっしょだった□□部の◇◇くんだね。朝練か。いい修学旅行だったなあ。

生徒：は、はい。楽しかったです。

私：さっきからずっと声をかけていたのに、聞こえなかったか。イヤホンが大音量なのか。私が自転車、バイク、車だったらどうする…。大好きな□□ができなくなるぞ。気をつけるんだぞ。

生徒：はい。すみません。ありがとうございます。

本校生徒の交通マナーの欠如・悪さに対する、地域住民や学校周辺道路利用者からの苦情電話についての報告を生活支援担当職員より受けたこともあります。通勤途中に本校へ直接話に来られた方に私が対応したこともあります。このような苦情は、一昨年度までと比べるとかなり多くなっているようです。

生徒が地域住民等の方々から指摘・注意されることは次のとおりです。

- 自転車の一時停止無視や急な飛び出し
- 一方通行道路での自転車逆走
- 自転車の二人乗りや傘さし運転
- 2、3人でおしゃべりしながらの自転車並走
- スマホ、イヤホン等「ながら」自転車走行(歩行も含む)

このような「危険行為」を繰り返していたら、みなさんの大切な、学校や家に向かうはずのお子様「死」に向かうことになりかねません…。生徒の自転車通学の様子をぜひ保護者のみなさんにも見ていただきたいです。

県民のみなさんからの苦情を生徒の安心・安全な学校生活のために生かすことは、学校としての当然の責務です。私たち職員は、苦情をありがたいものとして受けとめ、やまにし改善のために生かしています。しかし、もしも苦情対応・やまにし改善だけでは済まないようなことが起きてしまったら…。そのようなことを想像するとゾッ…とします。実際、元気に家を出たみなさんのお子様が、あと何十センチかずれていたら「いのち」にかかわる交通事故に…といったことが昨年 3 件発生しています。

保護者のみなさん、お子様の交通安全意識を啓発しましょう。尊い、かけがえのない、大切なお子様の「いのち」…。みなさんは、「行ってきま〜す！」と家を出たお子様の「ただいま〜！」の声を聞かなければいけないのです。

平成 29 年 4 月 10 日

教頭 竹久保 明弘